

2022年11月10日

各位

上場会社名 東亜建設工業株式会社
 代表者 代表取締役社長 早川 毅
 (コード番号 1885 東証プライム市場・札証)
 問合せ先責任者 管理本部総務部長 木村 徹也
 (TEL 03-6757-3821)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2022年5月13日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2023年3月期通期連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	220,000	9,600	9,500	6,600	309.67
今回修正予想(B)	209,000	6,000	6,200	4,400	206.24
増減額(B-A)	△11,000	△3,600	△3,300	△2,200	
増減率(%)	△5.0	△37.5	△34.7	△33.3	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	219,814	9,874	10,138	7,385	382.81

(2) 2023年3月期通期個別業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	211,000	8,800	8,700	6,100	283.75
今回修正予想(B)	200,000	5,400	5,600	4,000	187.49
増減額(B-A)	△11,000	△3,400	△3,100	△2,100	
増減率(%)	△5.2	△38.6	△35.6	△34.4	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	210,721	8,683	8,948	6,537	338.87

2. 修正の理由

(1) 個別業績予想

受注高は順調に推移しておりますが、売上高につきましては、主に国内において、一部工事の着工が遅れたことなどにより、前回発表予想より 110 億円減少する見込みです。利益面につきましては、海外の手持工事は堅調に推移しているものの、国内において、売上高減少に伴う利益減少、物価上昇の影響及び一部不採算工事が発生したことなどにより、営業利益が前回発表予想より 34 億円の減少、経常利益は為替差益の増加等を見込み 31 億円の減少、当期純利益は 21 億円の減少となる見込みです。

(2) 連結業績予想

主に個別業績予想の修正に伴い、連結業績予想を修正するものです。

(ご参考) 2023 年 3 月期個別受注予想数値の修正

	個別受注高
	百万円
前回発表予想 (A)	223,000
今回修正予想 (B)	245,000
増減額 (B - A)	22,000
増減率 (%)	9.9
(ご参考) 前期実績 (2022 年 3 月期)	191,554

受注高につきましては、国内建築事業で受注高の増加を見込むこと及び海外事業において、大型工事の受注を見込むことや円安の進行に伴う受注高の増加により、期首の見通しを上回る見込みです。

3. 配当予想について

当社の配当金につきましては、安定的な配当を継続することに重点をおきつつ、業績に応じた利益還元を行うことを基本方針としております。また、2020 年度から 2022 年度までの中期経営計画におきまして、株主還元の指標として配当性向 (単体) 20%~30% を目標としております。

今般、当社は業績予想を下方修正することとなりましたが、2023 年 3 月期の期末配当金につきましては、上記の基本方針、経営状況及び当社を取り巻く経営環境などを総合的に勘案し、当初予想どおり 1 株当たり 90 円を予定しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項

上記の予想数値は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって業績予想値とは異なる結果となる可能性があります。

以 上